

No.29-20 平成 30 年 2 月 20 日	<h2>漁況情報・浜の話題</h2>	神奈川県水産技術センター 企画資源部 046-882-2489 相模湾試験場 0465-23-8531
------------------------------	--------------------	---

### ● 浜 の 話 題

- 1月16日、横浜市漁協本牧支所において、水産技術センターが実施した東京湾のタチウオ資源調査に関する報告会が開催されました。東京湾内の卵分布調査と小底漁業者からご提供いただいたサンプル（小型のタチウオ）の分析から得られた成果を栽培推進部の岡部主任研究員が報告し、タチウオの成長、食性、産卵生態等について活発な質疑、意見交換が行われました。
- 1月19日、神奈川県定置研究会が岩漁協に委託して行っていた今年度の漁網の防汚剤試験が完了しました。当日は、定置網に吊り下げていた試験網の回収を行いました。これまでに実施した試験結果をまとめて、来年度の定置研究会総会などで西湘海域に設置する漁網に適した防汚剤の紹介などを行っていく予定です。



引き上げた防汚剤試験網

- 1月22日、横須賀市大楠漁協にて、同漁協所属の漁業者を対象としたトラフグ漁業の勉強会が開催されました。当水産技術センター山崎臨時技師が、トラフグの種苗放流やその効果に係る調査結果等について説明を行いました。出席した漁業者から活発な質問や意見交換が行われ、有意義な勉強会となりました。
- 1月25日、（一財）横須賀西部水産振興事業団は「漁業、新しい取組を学ぶ研修会-2」を西浄化センターで開催しました。当日は、県内の水産関係団体や漁業者等54名が出席者し、当水産技術センターからは、臼井主任研究員が野菜残渣で育てるムラサキウニについて講演を行いました。また、杉浦所長が研修全般に係る総括を行いました。
- 1月30日、みうら漁協松輪販売所会議室において「サバ類標識放流調査結果報告会」が開催されました。水産技術センター企画資源部武内技師から「サバ類標識放流調査の結果について」、「サバ類の資源状態について」、「松輪サバの漁況予測について」の発表がありました。また、同部樋田主任研究員から「2018年1～6月の漁況予測について」の発表がありました。出席した漁業者からは、サバ類資源の動向と海況の関係性などについて活発な質問があり、今後の操業の参考にしたいとのことでした。

- 1月30日、鎌倉パークホテルで、しらす協議会通常総会が開催されました。当日は、会員31名、関係機関9名、計40名が出席し、前年度事業・収支決算報告、新年度事業計画案と予算案が議決されました。昨年は、湘南しらすの販売促進・PRに加えて、しらす協議会全体のLINEグループを作成し、会員相互の情報共有や交換を図りました。当日は、新たに協議会に加入した佐島の清正丸さんの紹介もありました。



しらす協議会通常総会の様子

- 平塚市漁協と平塚の「鳥仲商店」及び地域の6次産業化をサポートする「社会福祉法人進和学園」の共同企画により、同漁協のプライドフィッシュ「平塚のシイラ」を使って開発した平塚シイラのメンチカツ、トマトチーズコロッケ、マヒマヒ・タルタルバーガー等が2月1日に発売されます。いずれもサクッとした食感で、シイラの身もふわっとしておいしく仕上がっているそうです。